

2008年度の千葉県立高校入試から、国語の学力検査に導入される「聞き取り」。まとまった文章を音声で流し、内容理解を問うもので、すでに中国・九州を中心に7県で実施されているが、関東では千葉県が初の試みとなる。

設問は、内容や趣旨の理解をみるもの、自分の意見を書かせるものなどが一般的で、所要時間は長くて10分程度。千葉県でも、国語の検査時間全体の50分間のうち、英語のリスニングと同程度の約10分間となる見込みだ。